



二足のわらじ — 自己の進路実現と「憧れの眼差しを受け続ける」立場  
— 自分の成長（個別最適）& 仲間の成長（協動的な学び）

第9学年主任 佐藤 輝和

こころ



MIGAKI

当たり前を見つめる — 有り難さに気づく、奇跡のストーリー —

「特別な時間を ありがとう」



< 4/11(火) 入学式 >

【河北新報 4月12日 掲載記事】



5つの小中学校が統合 大崎初の義務教育学校「古川西小中学校」で入学式 宮城

【tbc東北放送 YouTube】



【仙台放送 4月11日21:00配信】

### 大崎市初の義務教育学校



## 古川西小中 未来へ 一歩 入学式 29人参加

8、9年生の先輩に手を引かれて退場する新入生

今月開校した大崎市初の義務教育学校「古川西小中学校」（児童生徒338人）で11日、初めての入学式が開かれ、新入生29人が9年間を過ごす学びやでの第一歩を踏み出した。

新入生は吹奏楽部の演奏が流れる中、8、9年生の先輩に手を引かれて入場。保護者や来賓ら約200人を前に緊張した表情だったが、点呼で一人一人の名前を呼ばれると、それぞれ「はい」と元気に答えた。

笹川清治校長は「お友達や家族、先生に『ありがとう』の気持ちを持つ。自分がしてほしくないことをしないで。二つの約束を守って大きくなってください」と呼びかけた。

代表して教科書を受け取った朝倉成希君（6）は「緊張したけど楽しかった。算数を頑張りたい。お友達もいっぱいできそう」と笑顔で話した。

同校は古川西部地区の小中5校が統合して発足。前期（1〜4年）、中期（5〜7年）、後期（8、9年）の3部制で、一貫教育による「キーキープ」解消や学力向上、地域学習などに力を入れる。



【となりのトトロ「さんぽ」を演奏する 吹奏楽部と臨時応援メンバー】



< 4/11(火) 入学式 > photoつづき



が統合・大崎初の義務教育学校「古川西小中学校」で入学式 宮城

大崎市では初の小中一貫校でも開校後初の入学式〈宮城〉(23/04/11)